

|         |   |
|---------|---|
| 会議名     | 平成 21 年度第 11 回東久留米市市民環境会議   |
| 日 時     | 平成 22 年 2 月 22 日 (木) 19 時 ~ 21 時 於 東久留米市役所 7 階 702 会議室  |
| 出席者     | 出席委員数 17 名 欠席委員数 4 名  |
| 出席事務局職員 | 環境部長 環境政策課長 同主査 (政策調整担当) 同主事 (生活環境担当)<br>同主事 (みどりと公園担当)   |
| 次 第     | あいさつ<br>出欠者の報告<br>(1) 会議録の確認<br>平成 21 年度第 10 回市民環境会議会議録 (案) の確認<br>(2) 事務局からの報告等<br>「湧水・清流保全都市宣言 (仮称)」の検討に当たって ほか<br>(3) 部会活動【19 時 30 分から 20 時 10 分 (約 40 分間) 水とみどり部会は 501 会議室】<br>(4) 部会からの全体報告<br>(5) その他連絡事項等  |
| 配布資料    | 平成 21 年度第 10 回市民環境会議録 (案) ...資料 1<br>「湧水・清流保全都市宣言 (仮称)」の検討に当たって ...資料 2   |
| 会議の内容   | <p>1. 会議録の確認<br/>平成 21 年度第 10 回市民環境会議録 (案) の内容を確認した。5. 部会から全体報告【水とみどり部会】の中で「河川の流量が増えてきている」を「河川の流量が回復してきている」に修正をする。⇒ この部分を修正し了承。事務局で処理する。</p> <p>2. 事務局からの報告等<br/>(報告) 新市長が誕生し、湧水・清流保全都市宣言に向けての調整を市長と環境部で行った。3 月の市議会の市長所信表明 (案) の中にも「水とみどりの保全、自然との共生のまち」という部分がある。必要な施策を進めるために湧水・清流保全都市宣言をすることも有意義なことであり、本日「『湧水・清流保全都市宣言 (仮称)』の検討に当たって」を示す。これは市長と部での合意事項である。今後、市民環境会議には実現に向けて力を発揮してほしい。他の団体の意見もある。市民の盛り上がりを得ながら進めていきたい。スケジュールは庁内で考えていくのももう少し時間がほしい。</p> <p>(質疑・意見等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来にわたって財政的負担が難しいのか ⇒ 財政は東久留米市の大きな課題である。</li> <li>・宣言に向けてのムードがあるのならば、市制施行 40 周年に合わせて行いたい ⇒ 来年度は市制施行 40 周年であるが、拙速になる必要はなく、よりよい宣言を考えていきたい。</li> </ul> <p>意見としては、「平成 23 年 6 月は環境フェスティバルが節目の第 15 回に当たるのでよいのではないか」「市長から正式に『宣言を行う』という表明がほしい」「第 1 期東久留米市市民環境会議提案書』で提案した 3 項を進めることが湧水・清流保全都市宣言の早期実現につながる」等が出された。</p> |

その他、東久留米市のごみの削減率が低い等の意見があったが、出典を明らかにすべきとの意見があり、これは後日改めて検討することにした。

- ・市民環境会議委員と庁内環境委員会委員との懇談について年度内に開いてほしい ⇒ 平日の昼間に設定していきたい。

#### (報告)

- ・東京都で行っている「緑確保の総合的な方針について(案)」の意見を2月23日から3月24日まで募集する。公開する文書は膨大な量になるため、全部を見ることが出来る場所は3カ所のみである。東久留米市部分は環境政策課で閲覧できる。
- ・都水道局が、南沢3号水源井戸の掘り替え工事を実施中である。工期は5月31日まで。深さ220mである。
- ・野火止用水の下水道処理水送水ポンプ取り換えのため、本日3時間程度送水がストップする。今回が7回目であり、支障が発生しないことは確認している。
- ・2月21日、環境ウォッチングを開催した。約50名が参加。アンケート回答でも概ね好評であった。ルリビタキを見ることができた。
- ・環境シンポジウムの開催日時の変更3月6日から3月27日へ変更したい。主催を東久留米市と東久留米市市民環境会議の共催としたい ⇒ 了承
- ・「かんきょう東久留米」の発行目的は、市民への情報発信(環境基本計画の施策の進捗状況等)情報の蓄積である。80部作成。庁内印刷で作成している。「かんきょう東久留米」を発行していることを周知することが必要との意見があった。

(環境フェスティバル実行委員会の報告)第4回目の実行委員会が開催された。22年度の日程は6月19日~20日に決定した。実行委員長から参加依頼通知を発送した団体数は49。市民環境会議は1団体として参加する。正式な応募は3月31日まで。各部会で出展内容を決定しておいてほしい。参加型のイベントを考えている(スタンプラリー、屋外会場等)

### 3. 部会活動

#### 4. 部会からの全体報告

全体報告は3カ月に1回程度まとめて行ったらどうかとの提案があったが、報告を短めに行うことで毎月行うこととした。

【水とみどり部会】水循環基本計画の中間報告を3月~4月に行う予定である。部会員が雨水浸透施設の先進市である小金井市(小金井市の雨水浸透ますの設置率は53.2%)を訪問し話を聞いた。東久留米市の施設建設担当からも話を聞いた(市の水洗化率は1月1日現在99%。430戸が公共下水未接続)

「水循環基本法」が次期国会で提案されとの情報が提供された。

【くらし部会】3月37日環境シンポジウムで環境カレンダーの東久留米の取り組みの様子について話をしたい。東久留米市民のデータを取りたいので協力してほしい。補助金の申請を今年も行っ

ていくので了承してほしい ⇨ 了承

【環境広報部会】環境教育・環境学習 実施状況アンケート集計は原案がまとまりつつある。環境フェスティバルでの発表をめざす。河川での釣りのマナーポスターは、先般掲示した文字のポスターと同じ場所に掲示していきたい。東京都北多摩北部建設事務所に事務局と調整してもらおう。  
⇨「キャスティング」という言葉が分かりづらいとの意見が出されたが、原案どおりとする。

・次回開催予定 平成 22 年 3 月 24 日

終了時間 21 時 00 分